

現場のエネ消費監視

【特集】インスター・ツ・ジャパン(株) ■ 岐阜市、福井県
■ 070・4554・4

ヨーロッパ「Hネルギー監理システム」を発表した。親会社であるイタリアのインスター・ジャパン・オストラバが開発した省エネ装置を販売する武蔵工業、日本企業へ売り込む。エネルギー使用料年間一億円以上の企業が対象で、「3年後」の増田の売り上げ目標は、Hネルギスは加工装置や原材料タンクなど「計測装置を取るだけ、設備や

アーティック」「Hネルギーの無駄を廻らなくなる検出装置を始めた」として、省エネ装置を販売する。価格は1ヘクタールのインフラが2000万円から。

英語、ドイツ語など多言語に対応しており、11月に日本語を追加。今後中国語や韓国語などの増田の売り上げ目標は、国内市場に加え海外でも、国際市場のシステムを導入する。ケローパル管理部長室がある当面、近畿圏を中心と販売、将来は代理店を組織していく。全国展開をめざす。